

サイエンス・カフェ@近大COE



くらし

第1回「ずーっと泳ぐマグロの生活」

サイエンスカフェ・レポート

永田恵里奈

(環境保全グループ)

☀ **日時:** 7月22日(土) 15:00 ~ 17:00

☀ **場所:** あしびの郷

☀ **テーマ:** ずーっと泳ぐマグロの生活(くらし)

☀ **タイムスケジュール:**

1. 受付開始 14:30 ~ (パンフの配布、集金、飲み物とお菓子の注文受付)
2. 挨拶 15:00 ~ 15:05 (永田)
3. 研究紹介 15:05 ~ 15:35 (岡野、田村、福田、鳥澤、遠藤)
4. 休憩 15:35 ~ 15:45 (飲み物とお菓子の登場)
5. 質問と討論 15:45 ~ 16:15 (各テーブルで討論)
6. 休憩 16:15 ~ 16:25
7. 総合討論 16:25 ~ 16:55 (全体で討論)

☀ **提供話題一覧:**

1. クロマグロの遊泳行動(生簀内) 岡野 奨
2. クロマグロの形と泳ぐための機能 田村優美子
3. マグロの幼魚の群れ行動(明と暗) 福田 漢生
4. マグロはどのくらい見えるのか 鳥澤 眞介
5. 小さいキハダの生活 in フィリピン 遠藤 周之

☀ **来場者:** 35人(事前申し込み:29人 当日申し込み:6人)

☀ **スタッフ:** 11人

資源動態グループ: 鳥澤、田村、岡野、福田、畑山、遠藤、妹尾

環境保全グループ: 永田、池田

奈良増グループ: 柳下

利用グループ: 中村

見学者: 山根先生、高木先生、光永先生

☀ 委員長によるカフェ・レポート:

連日の雨もあがり、天気の良い中でのサイエンスカフェとなりました。我々スタッフは、会場となる「あしびの郷」へ 13 時過ぎに入り、会場設営を行いました。14 時半から受付を開始すると、ちょうどお客さんが続々とお店にられました。メールや電話で事前申し込みをされた方がほとんどでしたが、当日参加の方も 5 名ほどいらっしゃいました。受付では、参加費 300 円の集金、資料(プログラム、次回カフェのチラシ、アンケート)の配布、そしてお茶とお菓子の注文受付を行いました。

15 時になると、永田が近畿大学 21 世紀 COE プログラムと、サイエンス・カフェの簡単な説明を行い、その後すぐにカフェが始まりました。今回のカフェでは、第一部が話題提供の部、第二部がテーブルごとのディスカッションの部、第三部が全体でのディスカッションの部となっていました。話題提供者は資源動態グループの 5 人で、5 人合わせて一つのお話になるように構成されていました。演者が話題提供している間、会場には、まだ到着されていないお客さんもいて、空席も目立ちましたが、それも 15 分ほど過ぎたあたりで全席が埋まりました。参加者はみなさん、静かに演者の説明に耳を傾け、熱心にスライドを見ておられました。中にはメモを取っておられる方もいらっしゃいました。

話題提供の部が終わり、10 分間の休憩に入りました。ここでお茶とお菓子の登場です。各テーブルに、資源動態グループの PD・DC・MC 等が必ず 1 人以上入り、各テーブルで、お茶を飲みながら賑やかなディスカッションが始まりました。話題提供の部では、会場が静まり返っていて、会話が弾むか非常に心配でしたが、そんな不安など一気に吹っ飛んで、大変和やかで笑顔があふれるディスカッションとなりました。そこそこで「へえ～」という声が聞こえたように思います。あっという間に 2 回目の休憩の時間になりましたが、休憩のアナウンスを入れても、各テーブルのディスカッションは止まず、結局どなたもトイレに立たれなかったのではないのでしょうか。

全体での質疑応答の部は、テーブルで出た質問をサポートの方々がまとめて話題提供者に質問し、話題提供者が答えるという形式でした。時間が押していたこともあって、質問できる数に限りがありましたが、どのテーブルでも沢山の質問がでていたようで、サポーターの方々はその質問をするか選ぶのが難しかったのではないのでしょうか。最後に、今回のカフェの企画として、話題提供者を唸らせた質問をした参加者の方に、賞品としてあしびの郷のお茶券が手渡されました。以下、演者を唸らせた質問です。



演者を思わず唸らせた質問

- ⑬ ずっと泳いでいてマグロは寝ないのか？(商品獲得)
- ⑬ マグロが泳ぐときの燃費はどれくらいなの？(商品獲得)
- ⑬ マグロが他の魚に群れてしまうことはあるの？
- ⑬ 群れの先頭(リーダー)は入れ替わるの？
- ⑬ ずっと泳いでいて筋肉がつることはないの？(商品獲得)
- ⑬ つったら、呼吸できないで死んじゃうの？
- ⑬ マグロの視力は近視のヒトよりいいの？
- ⑬ ヒトの眼の(潜在)能力がマグロに負けてしまっているのか？
- ⑬ パヤオ(集魚用筏)の葉っぱは何のためにあるの？
- ⑬ どうしてパヤオにマグロは集まるの？

賞品の授与後、次回9月のサイエンスカフェで話題提供を担当する利用グループより、カフェの予告がなされ、サイエンスカフェは17時過ぎに、無事終了いたしました。終了後に集めたアンケートに記された参加者のコメントを以下に記します。

参加者のコメント(アンケート結果より)

- ☺ どのような方にも理解しやすい内容でした。
- ☺ とてもいい場になったと思います。「マグロトリビア」ばかりでした。お互いにいい影響だったと思います。次回も大変興味ある内容なので、是非参加したいと思います。
- ☺ 楽しい時間をありがとうございました。
- ☺ 研究紹介はとてもわかりやすく説明していただけたので分かりやすかったです。紹介時間をもう少し長くして欲しいです。
- ☺ どの発表も面白く、興味を持てた。また、質問にも丁寧に答えて頂き好感がもてた。次回も参加したいです。
- ☺ かたくりしいものではなく、ゆったりとした研究発表の場だと思う。おもしろい企画だと思う。
- ☺ 1人1人の発表時間をもう少し長くしてください。
- ☺ 来なければわからないことが沢山あり、良い機会でした。有難うございました。
- ☺ 演者が楽しそうに発表したり、討論を進めてくれたのがよかった。
- ☺ 内容はもちろんのこと、発表者の上手さに感心しました。マグロが思いのほか可愛い魚に見えてきました。とても有意義な時間をありがとうございます。研究者の仲の良さが印象的でした。次回を楽しみにしています。
- ☺ サイエンスカフェに参加したのは初めてですが、難しい話も易しく話していただいて分かりやすかったです。
- ☺ 内容としては難しいと思ったけれど、話し方がとても分かりやすかったので、とても良かったです。進行もスムーズだったので、良かったです。
- ☺ 近大のマグロの養殖の研究、時々新聞で拝見しますが、身近に研究の一端を知り興味深かった。研究所試験場の見学などがあれば行きたいです。
- ☺ テレビで見てたものを実際に見聞きし、質問・討論できて大変楽しかったです。

スタッフの声

- ☺ 参加して下さったお客さんの方々にあんなにも積極的に発言して頂いたことに資源動態 G 一同とても感激しました。関係者の方々に尽力いただいたおかげだと感謝いたしております。どうも有り難うございました。
- ☺ 資源動態グループ以外のグループの方が会場にいてくださってよかったです。資源動態 G 以外の研究に関する質問もできましたので。
- ☺ お客さんと会話していて非常に面白かった。
- ☺ 考えもつかなかった視点、予想外の質問、飽くなき好奇心に驚かされると同時に、良い刺激になりました。
- ☺ 近畿大学に入って研究がしたいと言ってきて嬉しかった。
- ☺ 「その研究が何の役に立つの？」と1回しか言われなかった。もちろんちゃんと答えられた。
- ☺ 「突進遊泳の時にマグロが受ける衝撃は小錦3人が上から落ちてきたくらい」という表現(福田君)に非常に納得させられ、そりゃ大変だと思われた。

反省点

- ☹ お客さんの存在を忘れない(お客さんが着席されたら接客するか、少なくとも目の前で遊ばない、入り口付近でのタバコもダメ)
- ☹ マイクをいつでも使えるように準備しておく(空調が思ったよりも大きい音、参加人数が多かったことにより後ろまで声が届きにくかった)
- ☹ 話題提供者と司会を分ける(司会を話題提供者が行ったため、会話が弾むと時間を忘れてしまう)
- ☹ メリハリをつける(会話の時間と休憩をきちんとわけ、時間を守る)
- ☹ BGM を効果的に使う(メリハリをつけるのに重要、会話の活性化に一役買っている)
- ☹ 席は前方から詰めて座ってもらう(遅刻者の席が目立つ、途中入場しにくい)
- ☹ 演者以外のサポーターを増やす(各テーブルにつくサポーターを増やしてさらに盛り上げる)
- ☹ サポーター応援要請の合図を決めておく(テーブルによっては盛上げの難しい所もあったので)
- ☹ スライド係を配置し、早くスライドを出す(演者の交代、質疑応答でのスライド出し入れを迅速に)
- ☹ サポーターにも飲み物を出す(しゃべりっぱなしでのどが渴いた、お客さんとの釣合が取れない)
- ☹ 受付時のメニューを3冊用意する(お店から借りたメニューは1冊で、混雑の原因となった)
- ☹ 各テーブルで説明するのに使用するツールを用意する(絵を描いた方が説明しやすい、発表に使ったスライドやパソコンを各自用意する)
- ☹ バタバタせず、落ち着いて行動する(焦っても走らず、大きな声を出さない、雰囲気壊さない)
- ☹ 発表中に聴衆をひきつける工夫がさらに必要(発表中にもっとひきつけることができるのでは。寝ているお客さんもいた)
- ☹ 受け答えはもう少し自信を持ってやっても良いのでは。
- ☹ あしびの郷の入り口が分からない。当日ポスターを持って近所に立たせる。(あしびの郷の店の前と交差点のところ)

委員長感想:

カフェ第 1 回目を終えて、まず重要だと感じたことは、広報活動の大切さです。一生懸命準備をしても、お客さんに来てもらえなければせっかくの努力が報われません。今回は、広報委員の中村さん(PD)を筆頭に、北野さん(PD)、岡野君(DC1)、畑山君(HP 作成、MC2)、遠藤君(ロゴ作成、MC1)、莊司君(ポスター用写真撮影、4 回生)のおかげで、たくさんの人の目に留まる、そして印象に残る宣伝・紹介をすることができました。実際に参加者の方々に尋ねてみると、商店街や図書館でポスターを見たという人がいて、その方々が友人を誘って一緒に参加されていました。また他学科の学生さんも近大農学部 HP や近大 COE の HP からサイエンスカフェの HP にアクセスし、HP を見てくれていたことがわかりました。アクセス数の多い HP のトップページにリンクを貼っていただいたことが功を奏したようです。

次に重要だと感じたのは、当日のカフェの内容です。今回は資源動態グループがトッパッターを引き受けてくれました。鳥澤さん、岡野君、田村さん、福田君、遠藤君のポスドクから修士 1 年まで、たった 6 分の中に自分の研究の特に面白い所を、ぎゅっと濃縮して話しをするのは困難な作業であったと思います。さらに、カフェの発表練習では、他の COE グループの PD や DC の方にも参加していただき、忌憚のない意見を出し合いました。おかげで非常に完成度の高いプレゼンができたのではないのでしょうか。他に、当日のスタッフとして手伝ってくださった、柳下さん(PD)、畑山君(MC2)、池田君(MC2)、妹尾君(MC1)、米山君(北大 DC1)、松永さん(4 回生)が、明るく要領よく動いてくれたおかげで、カフェの進行をスムーズに行うことができました。これらのスタッフが和気あいあいと、楽しそうに動いていたことがお客さんには好印象に映ったようです。さて、気になるアンケートの集計結果は以下のとおりです。

参加者について

年齢	人
0代	1
10代	5
20代	10
30代	6
40代	3
50代	2
60代	1

性別	人
男	11
女	16

科学に親しむ機会	人
有	17
無	9

科学に対する興味	人
有	16
無	11

話題提供の部

プレゼンテーション(5段階評価)	4.1
話題の内容(5段階評価)	4.4



印象に残った話題	人
クロマグロの遊泳行動(生簀内)	4
クロマグロの形と泳ぐための機能	4
マグロ幼魚の群れと行動(明と暗)	9
マグロはどのくらい見えるのか	7
小さいキハダの生活inフィリピン	7

会話の部	
演者の受け答え(5段階評価)	4.5
受け答えの内容(5段階評価)	4.6

会場の雰囲気	
発言のしやすさ	人
しやすかった	18
普通だった	7
しにくかった	0

発言したかどうか	人
した	20
したかったができなかった	3
したいと思わなかった	2

次回のカフェについて	人
また参加したい	17
話題による	9
もう来ない	0

どこで知ったか	人
知人	17
HP	5
ポスター	5



(ポスターを見た場所: 近大図書館、西部公民館、奈良県立図書情報館、塾)

これらの情報は全て、サイエンス・カフェ@近大 COE の HP に更新していくつもりです。カフェの様子を映したビデオ紹介も流します。できるだけ早めに更新したいと思いますので、よかったら HP にアクセスしてください。

次回のサイエンス・カフェ@近大 COE は9月30日の開催となります。すでに広報委員の方々がポスターの撤去と更新を行ってくださっています。次のサイエンスカフェのテーマは利用グループによる「マグロ肉の安全と安心」です。もしご都合がよろしければ、足を運んでいただければ幸いです。一同お待ちしております。

サイエンス・カフェ
コーヒーを飲みながら科学を語ろう！

第2回
「マグロ肉の安全と安心」

大型凶悪魚のため、完全無毒が証明されたマグロ。私達のグループは、世界で初めて完全無毒なクロマグロを用いて、肉質の研究を行っています。また、水産物の流通・消費の現状や、水産物の再利用に関する研究にも挑戦しています。私達がやっている研究について、美味しいコーヒーを飲みながら、楽しんで、質疑に盛り合ってください。皆様のご参加をお待ちしています！

日 時 2006年9月30日(土) 15時～17時
会 場 おしだの郷 近鉄東大の駅南口徒歩10分
JR奈良駅、徒歩15分
(駐車場あり)
参加費 300円(ドリンク、ケーキ付)
お問い合わせ
近畿大学1号館1001号室
1号館2階の東大の海産物・水産物研究センター
サイエンスカフェ実行委員会 電話 0735-64-0114
E-mail: sci-cafe@sci.kinki-u.ac.jp
ホームページ: http://sci-cafe.kinki-u.ac.jp/

主催 近畿大学 後援 近畿大学近畿大学近畿大学(近畿大学近畿大学)